

令和4年度北上医師会在宅医療推進のための医師スキルアップ研修会

令和4年12月10日（土）日本詩歌文学館講堂 オンライン（Zoom）

参加者 78名（会場39名 オンライン39名） アンケート回答 61名（会場36名 オンライン25名）

<結果>

1. この講演会は、どのようにして知りましたか。

チラシ 17名 医師会の案内 6名 在宅きたかみの案内 14名 知人 11名  
その他 13名（北上広報8名、新聞1名、職場の回覧1名、Face Book1名  
ホームケアクリニックえんからの情報1名、未回答1名）

2. 参加した理由をお聞かせください。

- ・興味、関心があったから。13名
- ・テーマ、講師の方の話を聞きたかったから。16名
- ・在宅医療、在宅介護について知りたかった、勉強したかったから。9名
- ・親、家族の介護が近々必要になってきている、現実化してきているため。5名
- ・看護師、納棺師という専門職の家族の立場での話しを聞きたかったから。
- ・介護在宅制度を知りたくて。
- ・情報の入手と学びの場として。
- ・在宅で最期をまっとうするには…を知りたかった。
- ・自分のため。
- ・私自身がその対象となり得ると考え参加した。
- ・ひとり生活なので、自分のことは自分でしなければならないから。
- ・家族に障害をもった者がいる為。震災で知人を失っている為。
- ・誰しも通る看取り、母を送っていずれは自分たちもどういう最期を送るかは、自分の普段の生きざまとかかわると思ったから。
- ・川口さんも笹原さんも日頃から良くしていただき、振り返りや新しく聞ける事を楽しみにしていたから。
- ・自分も介護や看取った中で今でも反省することばかりで、少しでも参考にして気が楽になったらいいなと思ったから。
- ・主人の姉が緩和ケア病棟に入院経験があるので。
- ・コロナ禍でいろいろなことがストップしていたので、これからの連携支援センターの動向を知りたいと思ったため。
- ・在宅介護をしている自分を勇気づけたいため。
- ・当施設で看取り介護を行っていますが、在宅医療と近いものがあり興味があったため。

3. 内容はいかがでしたか？また、その理由は何でしょうか？

- |               |     |
|---------------|-----|
| (1) とても良かった   | 40名 |
| (2) 良かった      | 18名 |
| (3) 普通        | 1名  |
| (4) あまり良くなかった | 0名  |

(5) 良くなかった 0名

(6) 未回答 2名

- ・介護、看取り経験者、実体験の話を聞いて良かった、勉強になった、有意義だった。 16名
- ・とても楽しく聞かせていただいた。2名
- ・「在宅きたかみ」が出来たことを知ることができてよかった。2名
- ・看取りの関わりについてとても貴重な話だった。
- ・最後の時間の過ごし方が心に刺さった。
- ・泣けました。
- ・看取ったその人でないと語られない想い、言葉を聞くことができた。
- ・愛がある人達ですね。
- ・貴重な体験のひとつひとつを大切に聴かせていただいた。
- ・体験談で講師の先生の思いが伝わってきた。アットホームな講演会だった。
- ・家族を亡くし辛い気持ちの中にある方には、気持ちが少しでも楽になったかもしれません。
- ・それぞれの家族の思い、まわりで支える専門職の思いがとても伝わってきました。「ふりかえる機会」とお二人とも言っていました。大事な時間なのだと。看取りに「呼ばれなかった」という言葉もすごいと思います。それでいいんだなあと思います。
- ・家族はできないことと思ってしまうても、支援者の力で本人の望むことがかなえられる事に感動した。
- ・困難な時にこそ前向きに元気に生きるってことが大事だと思った。
- ・亡くなった悲しみより、この経験を通して前向きになれる事の大切さを学ぶことができた。プロとして家族を支える大切さを再認識できた。
- ・トークセッション 千葉先生のまとめ方が勉強になった。三名のお話しもそれぞれの立場でわかりやすかった。素敵なお話しでした。看取りは最後の時だけではない…って、その通りだと思います。“顔の見える関係”大事ですね。
- ・自分がこれから何をすべきか少しわかった気がします。信頼されること、これはとても大切だと分かった。
- ・数か月前亡くなった父…私たちが出かけた時に…近くの店まで歩いて買い物に出かけたりしていたのを思い出した。宝くじを買うのに4~5万円持って行ったりした思い出や、板を買いに出歩いたりして、家の中でのこぎりで物を作ったりしていた。今は、振り返りの時間を大切にしたいと思った。
- ・川口さん、笹原さんのお話しも心温まつ素敵なお話しで、家族を同じように大切な気持ちを持って見送りたいと思ったり、信頼される職員でありたいなあと学びになった。
- ・現実や体験したことのお話しは身にしみて良かった。
- ・もう少し介護と仕事の両立の苦勞、金銭的な苦勞、それをどう解決していったのかを具体的にお聞きしたかった気がします。
- ・今後の学びにつながった。
- ・体験談等も聞いてイメージが湧いた。
- ・医療・介護に関わる人間として、これからの役割や取り組み方を考える良い機会となった。
- ・最後のセッションで生の声が聞け、ほっこりした気持ちになった。
- ・それぞれに在宅介護、看取り、看取り後の今に至るお話を伺える温かい時間でした。
- ・北上市での取り組みを知ることができたこと、川口さん、笹原さんの体験をお聞きし、共感できる

ことや今後に活かしたいと思うことが多々あった。

- ・こんな素敵なお話もあるのだなあとお話を聞いた。
- ・実体験にもとづくお話に、心が揺さぶられた。
- ・各講師の皆様の実体験や、実際の臨終の際のお話や、関係機関のチームワークのお話など、とても勉強になった内容だった。
- ・済生会病院の立ち位置がわかった。
- ・川口さんの夫への愛情の深さが素敵だと思った。
- ・多くの人に支えられ、これからも在宅介護を続けていきたいと思った。
- ・涙あり笑いありでとても楽しく聞かせていただいた。大変なことだと思うのですが、それを感じさせないのは、やはり多職種連携があったからなのかと思う。
- ・体験からのお話なので、気持ちが伝わり感動した。
- ・自宅にいても、訪問診療や看護、ヘルパーさんなどチームで連携することによって、その人が希望する形で最後まで支援できていることに感動した。

#### 4. ご本人にお尋ねいたします。

(ア)年齢 20代2名 30代4名 40代8名 50代16名 60代13名 70代9名 80代3名  
90代1名 未回答5名

(イ)性別 男性 8名 女性 51名 未回答2名

(ウ)職業 医師4名 看護師5名 医療従事者等8名 公務員、福祉職5名 保健師2名  
ケアマネジャー4名 地域包括支援センター1名 キャリアカウンセラー1名  
会社員3名 パート2名 ボランティア1名、主婦・無職14名 未回答11名

(エ)居住地域 北上市55名 奥州市1名 花巻市1名 盛岡市1名 滝沢市1名 未回答2名

#### 5. 感想、要望

- ・映像や画像を交えながら、興味深くお話を聞くことができた。
- ・笠原さんのお話しに感動しました。親子のキズナについて幸せな方法だったと。
- ・参加者がもっと多いと良いのですが。
- ・場所もこちらでよかったです。バス・電車でも便利な場所で、私は助かりました。
- ・民間、公共の協力体制が大事！！
- ・息子もラグビーをやっていて、親近感がわきました。出来る事をやれる人がやってあげたら、無理だと思っている事も可能なんだと思ったら、年をとることがとても不安でしたが、なんだかんだで50代ですが安心して老いていけるなと思いました。ワンチームってすばらしいですね。
- ・型にはまらない学びの場も必要では？感謝です。
- ・相談することが大事だと思いました。情報集めをしようと思いました。
- ・助けて欲しい、困ったことを声に出せることの大切さを感じました。実際私も千葉先生（スタッフのみなさま）の支援を頂き、看取りが出来たことを思い出しながら聴きました。支えてくださる事に改めて感謝の気持ち。看取りの時、誰も関わりたくないという高齢者がいます。そんな時、支えるひとを支えるしくみがあればと思っています。
- ・亡くなる瞬間だけが看取りではないという言葉 千葉先生の言葉に大きく頷いている自分です。家族がどう関わってこれたか、大事だと思いました。市民として、北上市に住む者として、支えてく

ださる仕組み、関わりがあることが具体的な事例として伝えてもらってありがたい企画だと思います。あきらめないで、介護・医療の方々と一緒に…と思いました。

- ・とても素晴らしい会でした。また機会がありましたら参加してみたいです。
- ・ありがとうございました。
- ・介護する事に限界を作らずに向き合うことの素晴らしさを感じました。それはすなわち生きてゆく事に限界をつくらない！！私もそうありたいと思います。日々を健やかに、私のできる目標に挑戦し続けたいです。ありがとうございました。
- ・できない理由より、どうやったらできるのか考え行動していくことが大事だと気づかせていただきました。心温まる講演ありがとうございました。
- ・利用の仕組みを知らないため、利用できない人（していない人）がたくさんいると思うので、もっと気軽に相談できるようになれば良い。
- ・今度は自分の事で考えなければと思いました。良い時間をありがとうございました。
- ・笹原留似子さんの講演が良かった。
- ・看取れた人は強いという話に何か納得しました。母を自宅で看取れたことが、その後の生きることの力となったと思う。本日の看取り、ケースワークが特別のことでないことを願います。何年か施設の生活、自宅に帰れなかった友を思います。いいお話しでした。
- ・貴重なお話をありがとうございました。
- ・川口さん、笹原さんの明るく前向きな家族との向き合い方に感動しました。
- ・会場とZoomが選べてとても良かった。「生きる」ことをテーマにした内容も聞いてみたいです。
- ・最後に笹原さんがお話しされた、遺族が経験を活かしてサポーターとして出来る事があると、同じ悩みを持った家族が相談しやすいと感じました。
- ・本日は、3名の方のお話を伺うことができて、とても有意義な時間となりました。今後、介護をする立場になった時、情報や知識があるのとないのでは、全く違うのかなと感じます。このような機会を今後も持ち続けていただければと思います。
- ・川口さん、笹原さん、貴重な体験お話しください、ありがとうございました。笹原さんの娘さん、奥様の看取りの場面は涙なしでは聞けませんでした。人は死を迎える最後の瞬間まで生き抜いて、死後もこんなに生きている人にいろいろと教えや学びの場を与えてくれるものなのだなぁと思いました。特別なことではなくて、これからも一人一人の人生に寄り添える北上市であればなぁと思いました。
- ・千葉先生の「最期に立ち会うことだけが看取りではなくて、看取りまでの過程を見守ることも大切な看取りなのだ」とお話しされていたことが、印象に残りました。コロナ禍での面会制限により、十分な面会や看取りが出来ず、あいまいな喪失や後悔を抱えた御遺族が地域にたくさんいらっしゃると思います。ご家族が病院で亡くなった方、ご家族が事故や自死で予期しないかたちで亡くなった方。北上で生活する全てのご遺族にとって、やさしいまちになるよう、他職種でつながりながらまちづくりをしていけたらと思います。
- ・とても良いお話しばかりでした。有意義でした。